

11/3 秋の息吹感じる舞橋を楽しむ
鶴の舞橋ライトアップイベント & 秋まつり

10月26日から11月3日の期間中、富士見湖パークで「鶴の舞橋秋まつり」が行われました。

期間中は鶴の舞橋がライトアップされ、カップルや家族連れが足を運び、幻想的に照らし出された鶴の舞橋を写真に納めるなど楽しんでいました。まつり最終日には直径2mのジャンボアップルパイの実演販売が行われ、下山学園の生徒が開発したスチューベンジャムを使用した舞橋バージョンとして販売されました。

また、仮装してパーク内で写真を撮るハロウィン特別企画が行われ、子どもたちが可愛らしい仮装でパーク内を歩いていました。



▲焼き上がったジャンボアップルパイ

▲ハロウィン特別企画の会長賞



▲賞状を持つ須藤さん

▲木村校長と前川税務署長

11/14 児童と生産者が地元食材の給食を味わう
鶴田小学校 ふるさと産品給食の日

鶴田小学校で県産食材をふんだんに使った給食を町の生産者とともに味わう「ふるさと産品給食の日」が行われました。

この日は町内産のお米「はれわたり」や児童が授業で収穫した大根を使った大根のそぼろ煮、デザートにはつがるにしきた農協鶴翔ぶどう部会からのスチューベンが提供されました。

児童と生産者たちは味の感想を言い合うなど、地元産の食材を使った給食を味わっていました。

11/12 身近で大切な税について知って欲しい
税に関する高校生の作文コンクール・感謝状の贈呈

11月12日、下山学園高校で本年度の税に関する高校生の作文コンクールで五所川原税務署長賞に輝いた須藤仁奈さん（3年生）の表彰式が行われました。

須藤さんは「応募のきっかけは地元を良くしようと思ったのが原点で、自分たちが今できることは何かをわかりやすく伝えられたと思う」と話していました。

14日には、租税教育の推進に功績のあったとして五所川原税務署から鶴田小学校へ感謝状が贈られました。鶴田小学校は子どもたちに税のしくみについて学ぶ「租税教室」を2017年度から毎年行っています。



生産者と給食を食べる児童たち

地域おこし
協力隊通信
Vol.77 (筆: 帯川 匠)

寒さ肌にしみる頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は毎日寒さに体を震わせながら、畑の中を走り回っています。

今年のスチューベンぶどうは糖度も高く、香りと酸味が絶妙で、選果作業中に何度も味見をしたくなるほど美味しい一品でした。引き続き、師匠の下でスチューベン栽培技術とつまみ食いのスキルを上達できるよう努めてまいります。

ぶどうの選果作業の他には、剪定作業も行いました。剪定も初めてで師匠からレクチャーを受けましたが、木によって切ついい枝と切ってはいけない枝があり、その判別が難しく、最初は作業が捗らなかったです。焦っても指だけには気を付けようと思った今日この頃でした。



▲ぶどうの剪定作業を行った帯川さん

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人才を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・着定を図る取組。



今年度産のりんごを寄贈したみどりの会

11/22 下山学園生徒が好成績を報告 下山学園高校 ビジネス計算競技・柔道

下山学園高校の生徒が各種大会で優勝や入賞を果たしたことを相川町長に報告しました。

訪れたのは、県高等学校新人柔道大会において女子52kg級で優勝した高坂礼奈さん（2年）と女子63kg級で優勝した成田歌蓮さん（2年）、東北6県高等学校ビジネス計算競技大会で読上暗算1位、応用計算と読上算で3位に入った澁谷妃鞠さん（1年）です。

高坂さんと成田さんは、来年1月に行われる東北大会と3月に行われる全国大会に出場します。



相川町長から顕彰状と記念品を贈呈されるご夫婦

ライス☆シェアメニュー

年末 SP で2品載せます♪

これはタイの料理。
ピリ辛だから
ご飯がススムね！

キャラクターの顔は
海苔とハム、
チーズで作ったんだって！
食べるのもったいねいよ!!

詳細はこちらより
ご確認ください▶

11/15 リンゴを食べて冬を越してほしい！ みどりの会 学校給食用のリンゴ寄贈

町の農業後継者団体「みどりの会」（工藤龍輔会長）は、小中学校の学校給食に使われるリンゴ44箱（約880kg）を町に寄贈しました。

同会は子どもたちに農業に関心を持ってもらおうと、会員が栽培したリンゴを2005年から毎年寄贈しています。

工藤会長は「子どもたちには皮ごと食べて、元気に冬を越してほしい」と話していました。

寄贈されたリンゴは11月18日から来年2月中旬まで毎日学校給食に提供されます。



報告を行った（前列左から）高坂さん、成田さん、澁谷さん

11/22 50年の歳月を夫婦で二人三脚 令和6年度 鶴田町金婚式

「いい夫婦の日」に合わせて、町国際交流会館で金婚式が開かれ、町内に住む結婚50周年を迎えた11組の夫婦が出席しました。

式典では相川町長から結婚50年をたたえる賞状と記念品が手渡されました。その後出席者を代表して北谷正則さんと春子さんが「結婚生活50年の歳月を夫婦二人三脚で歩んできました。私たち夫婦のために金婚式を催していただき心より感謝します」とお礼のことを述べました。

町では、お米のさらなる消費拡大、地産地消を図るため、お米を使った料理の投稿を随時募集しています。

詳細はこちらより
ご確認ください▶

